

大会宣言

近年、深刻な少子化や高齢化、情報社会の進展に伴い、人間関係が希薄化し、複合的な課題を抱え地域で孤立している世帯が増えています。そのなかで、民生委員・児童委員は常に地域住民に寄り添いながら、誰もが安心して安全に暮らすことができる地域づくりのため、日々活動を行っています。令和4年12月の一斉改選における15000人の欠員は、関係者の努力により急速に回復してきているものの、さらなるなりて確保のための活動の周知や、継続した委員活動のための環境整備は、依然として喫緊の課題といえます。

来年の一斉改選に向け、行政をはじめとする関係者と力を合わせ、それらの課題に取り組んでいくことが求められるなか、それぞれの者がそれぞれの立場で必要な役割を果たすことが重要といえます。

また、本年には、能登半島地震や豪雨災害等さまざまな災害が発生し、全国各地で多大な被害をもたらしました。災害に備えた活動には、地域住民と信頼関係の形成が重要であり、地域に根ざしたさらなる取り組みを進めていかなければなりません。

本日、ここ宮崎県において、第93回全国民生委員児童委員大会を開催するにあたり、私たちは強い決意のもと、次のとおり宣言します。

- 一、同じ地域に住む人びとが孤立することのないよう、日々の見守りや相談活動を重ねるとともに、関係機関とさらなる連携強化を図り、地域共生社会づくりに取り組みます
- 一、わが国の未来を担う子どもたちが健やかに育つことができるよう、子どもの権利と育ちを守り、子育て家庭が安心して暮らすことができる、地域づくりに取り組みます
- 一、全国の災害被災地の人びとや、そこで活動する民生委員・児童委員への支援を引き続き行うとともに、災害に備えた平常時からの地域づくりに取り組みます
- 一、基本的人権への理解を深めるとともに、人権啓発に関する活動へ積極的に協力し、人権を尊重した地域づくりに取り組みます

- 一、広く社会に対し民生委員・児童委員制度の周知を図り、民生委員・児童委員活動、主任児童委員活動に関する正しい理解の浸透と協力の拡大に向けて取り組みます

令和6年11月20日

第93回全国民生委員児童委員大会

(於 宮崎県宮崎市)